

はあと+のはあと



2020年10月号
発行 西湘・県西エリア
エリア活動課
問い合わせ 045-470-6863

トイレットペーパーはどの位持つのかメンバーが検証してみました。

※各自パルシステムのペーパーと市販品を比べたり、普段使用しているペーパーで検証しています。

Kさん家族（男性1・女性1・男子2）



①市販品 30m(ダブル)…2日半で1ロール

②パルシステムの『トイレットペーパーながもち 150(太穴) 150m』(シングル)…12日で1ロール

市販品は柔らかいがそのぶん破れやすい。ダブルだが使用する長さはシングルと変わらない。1週間で3つのロール芯のゴミが出る。パルシステムのものは、紙がしっかりしていて破れにくい。安心感があるので、長さは多少、少なくてもすむかも。ロール芯のゴミが出ないこと、置き場が省スペースであることもメリット。

Tさん家族（女性2・女子1）



市販品 90m(シングル)…15日で1ロール

Oさん家族（男性1・女性1・男子2）



市販品 42.9m(ダブル)…7日で1ロール

K2さん家族（男性1・女性1・女子1・男子1）



①市販品 50m(シングル)…3日半で1ロール

②パルシステムの『リ・さいくりんぐトイレットペーパーダブル 65m』…6日で1ロール

市販品は巻きがゆるくて破れやすい。長さが似ているものを買ったが、消費するスピードが速くて芯のゴミを片付けるのが面倒だった。パルシステムのものはリサイクル紙を使っている硬さを感じなかった。



Iさん家族（男性1・女性1・女子1）



①市販品 55m(シングル)…3日半で1ロール

②パルシステムの『トイレットペーパーながもち 150(太穴) 150m』(シングル)…7日で1ロール

購入した市販品にはミシン目が入っていたが、力の加減で切りたくないところでも切れるためストレスを感じた。

パルシステムのものはミシン目がないため、カラカラと巻き取りたい娘はやりやすいようだった。検証用にペーパーをドラッグストアで買ったら重いしかさばるしで、徒歩での持ち帰りが大変だった。

センターからこんにちは！

2020年4月より、平塚センターのセンター長に着任しました海野 満と申します。

かなり遅いご挨拶となってしまう、申し訳ございません。

さっそくですが、平塚センターの自慢は、自然環境の良さです。

センター後ろに大山・富士山を背負い、横の農業用水には カエル・ザリガニ・メダカ・ドジョウ・鯉・などなどたくさんのおきものがすんでいます。こんなに心休まるセンターは他にありません。

感染症がおさまった時には、おまつりやイベントでセンターをご訪問いただき、環境の良さをぜひごらんください。そのためにも、うがい・手洗い・消毒など、対策を徹底してまいります。この困難も組合員のみなさまと力をあわせ乗り越えさせていただければと思っています。よろしくお願いいたします。

